

貧困を無くすことと 憲法9条を守ることは一体

ているのは派遣社員が多い。そして低賃金。身体を壊せばすぐにホームレスですよ。

フルキャストという派遣会社があります。ここに派遣登録をするとIDカード(身分証明書)がもらえる。このIDカードが、実はサラ金のカードにもなっているんです。低賃金でお金に困ったら、サラ金に走りやすいようにする仕組みです。派遣社員やフリーターから全てを搾り取ってしまおう、という黒い意図を感じます。

西谷 そんなフリーターやニートたちが、「若者たちの反乱」を始めました。ちよつと映像を見てみましょう。

雨宮 (映像を見ながら)これは新宿でのパレードです。お金がないと恋愛もできないので「恋させろ」とか、泊まる場所がないのでマクドナルドで粘っていると、追い出しがかかるので、「マックに住ませろ！」(笑)とか、音楽を鳴らしてDJも付けて、楽しく面白く、なおかつ要求は切実なパレードです。

西谷 楽しそうですね。道行く人々も喜んでいきますよ。

雨宮 そうです、最初3000人で始まったパレードが終わる頃には420人に増えてました。



戦争に駆り出される米兵も、貧困層出身者が多数。格差社会が戦争の下地になっている (バグダッド©西谷文和)

が長引くと、兵隊を希望する若者が減るじゃないですか。アメリカはどうして兵隊を募集するのかなと思っていたんですが、評論家の森永卓郎さんは「そんなの簡単だよ。大学の奨学金の基準を厳しくして、大学に行ける人を少なくすれば、多くの若者が軍隊に入るんだよ」とおっしゃってました。アメリカは日本以上に格差社会なので、兵役予備軍がいるのですね。

西谷 日本もそうなりつつあります。これは今の自衛隊には好都合ですね。働く場所がない、良い条件の職場が少ない。自衛隊なら身分は安定、ボーナス、健康保険

若者の間で大きな問題

貧困と格差

西谷 私は最初3000人で始まったが、終わる頃には2000人に減っていた(笑)デモしか経験がありません。

雨宮 あのパレードには動員された人はいません。要求は切実ですが、面白くやるのがポイントです。例えばクリスマス前の六本木ヒルズで、どてらを着てなべを囲む日本でも最もトレンドリーな「勝ち組」のデートスポットで、恋愛もできないフリーターがなべをつついて、「俺たちにも幸福を分けろ」と強烈なメッセージを送ったり。

西谷 貧困と格差の問題は、今の日本で、特に若者たちの間で大きな問題になってきているというのが、よく分かりました。実は世界でも最も貧困と格差を生じさせているのは、戦争だと思っています。私はイラク戦争取材して、イラク人と米兵の間で「命の値段が違う」と感じてきました。では07年10月に撮影したイラクの最新映像をご覧ください。

完備。吉岡さんも厳しい労働条件で働いておられますが、「もうこの際、戦争でも起こって、社会が一度ガラガラボンになって、一から出直せるほうが良い」などと考えたことはありませんか？

吉岡 それはいいですね。やはり戦争の悲惨さは分かりますし、平和があるうちに何とかこの世の中が少しでも改善してくれればいいと思います。

「生きさせるデモ」や「死ななため」の連帯も

雨宮 今までは「どうせ俺の将来ホームレス」とあきらめていた若者が、最近では「生きさせろ！デモ」などを始めたり、フリーターの労働組合を作ったり、「死ななため」の連帯が始まっています。ここに希望を感じますね。

西谷 本日の集会は「吹田9条の会」が主催ですので、最後に、それぞれ「憲法9条をどう考えるか」についてご意見を

雨宮 もちろん9条は大事です



吉岡 力さん

雨宮 (映像を見ながら)これは自爆テロですね。子どもがたくさん犠牲になっていますね。

西谷 アメリカが「テロとの戦い」を進めた結果、イラク人の中に憎しみが高まって余計にテロが増えているのです。この自爆テロで4人が殺され20人が傷ついています。テロを仕掛けたのはアルカイダです。「友人の友人がアルカイダだ」といった政治家がいましたね。この悲惨な実態を見てみる、と言いたいですよ。彼は「俺は顔が広い」と自慢したかったのかも知れませんが、そんな政治家が新テロ特措法を議論し、イラクやアフガンでの「戦争協力」を決めていく。国会議員はもつと戦争の実体を知るべきだと思います。

雨宮 民間人を巻き込む戦争の悲惨さに加えて、戦争が民間化されているのですってね。

西谷 米英軍をリタイアした軍人が、民間軍事会社を作るんです。イラクではたくさんの米兵が殺されるので、米兵は基地にこもりがちです。重要な空港や油田、パイプラインなどは、今や民間軍事

「奨学金減らして、大学行く人減らせば、軍隊に入る」と

西谷 私は21条、「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する」が大事故だと感じますね。例えば朝日新聞がキヤノンの偽装請負の記事を書いた。すると経団連の会長でキヤノンの社長である御手洗富士夫さんが、朝日新聞へのキヤノン広告をやめてしまった。せこいでですね。新聞は購読料と広告料で成り立っている。朝日新聞の記者は、不正は許せない、とキヤノンを告発してくれた。しかし素晴らしい記事を書けば収入は減ってしまう。こんなことをされたら、大企業や財界を批判するメディアがなくなってしまうんです。戦争前夜は特に表現の自由が侵されてしまいます。大本営発表のようなニュースだけでは、国民は何が正しくて何が間違っているのか、判断できない。9条も大事ですが、その他の条項も本場に大事です。図らずも、3人3様の意見でしたが、共通するのは「憲法は宝物」だということでした。結論が出たところで、本日のパネルトークを終わりたいと思います。

日本が危ない この流れを何とか止めたい

吉岡 貧困は格差を、そして戦争を生んでしまいます。私は貧困をなくすことと憲法9条を守ることは一体のものだと思います。今の日本が危ないところに突き進んでいると思うので、一揆でも起こして、何とかこの流れを止めたいと思います。

イラク取材で、イラク人と 米兵の「命の値段が違う」と実感



西谷 文和さん

(この対談は2007年11月13日、吹田メイシアターで行われたものです)